

霞ヶ浦北浦の漁業就業ガイドブック



令和8年(2026年)6月

茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所

1 霞ヶ浦北浦について



(1) 特 徴

霞ヶ浦北浦は外浪逆浦などを含め 220 km²の面積を有する全国第 2 位の湖で、平均水深は 4 m 程と、「広くて浅い」といった特性を持っています。

(2) 水産業

ワカサギ、シラウオ、ハゼ類、エビ類等の水産資源に恵まれていることから、古くから多種多様な漁業が盛んで、また網いけすを用いた小割式養殖業のほか淡水真珠養殖業も行われており、豊富な漁獲物から佃煮や煮干しなどを製造する水産加工業も発展している国内有数の水産業が盛んな地域です。

令和 6 年の霞ヶ浦北浦の漁獲量は 409 トン、うちシラウオが 194 トンで、全体の 47% を占めています。

魚種別漁獲量では、茨城県はシラウオが全国 1 位の漁獲量となりますが、そのほとんどは霞ヶ浦北浦産です。

コイ養殖業も盛んで、茨城県は全国 1 位の収穫量で、その全てが霞ヶ浦北浦産です。

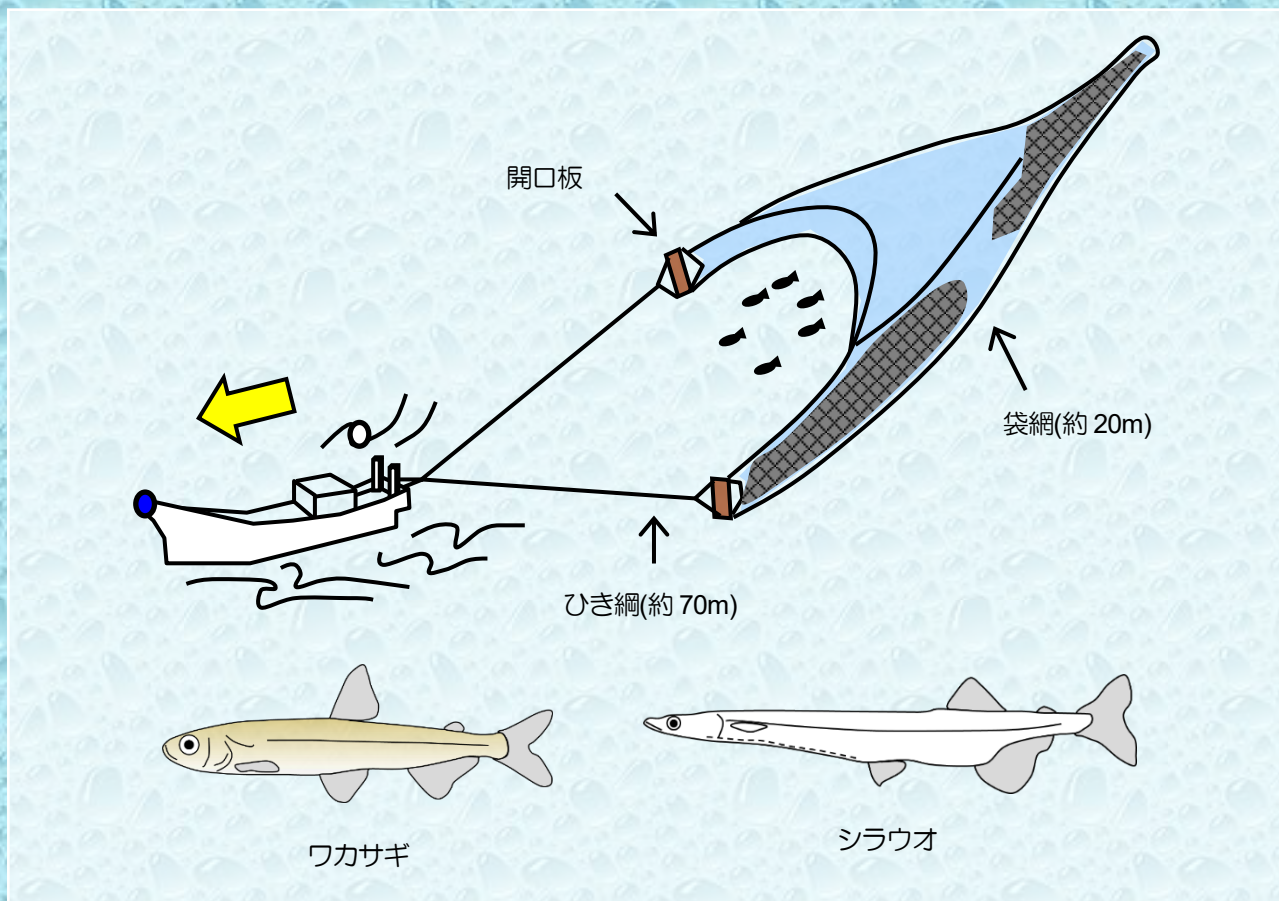
(3) 遊漁・湖上レジャー

首都圏に近い手軽なレジャースポットとしてコイやフナ、ブラックバスなどを対象とした遊漁(釣り)のほか、ヨットやウインドサーフィン、水上スキー等の湖上レジャーも盛んです。

2 霞ヶ浦北浦の漁業について

(1) 底びき網漁業(小型機船底びき網漁業)について

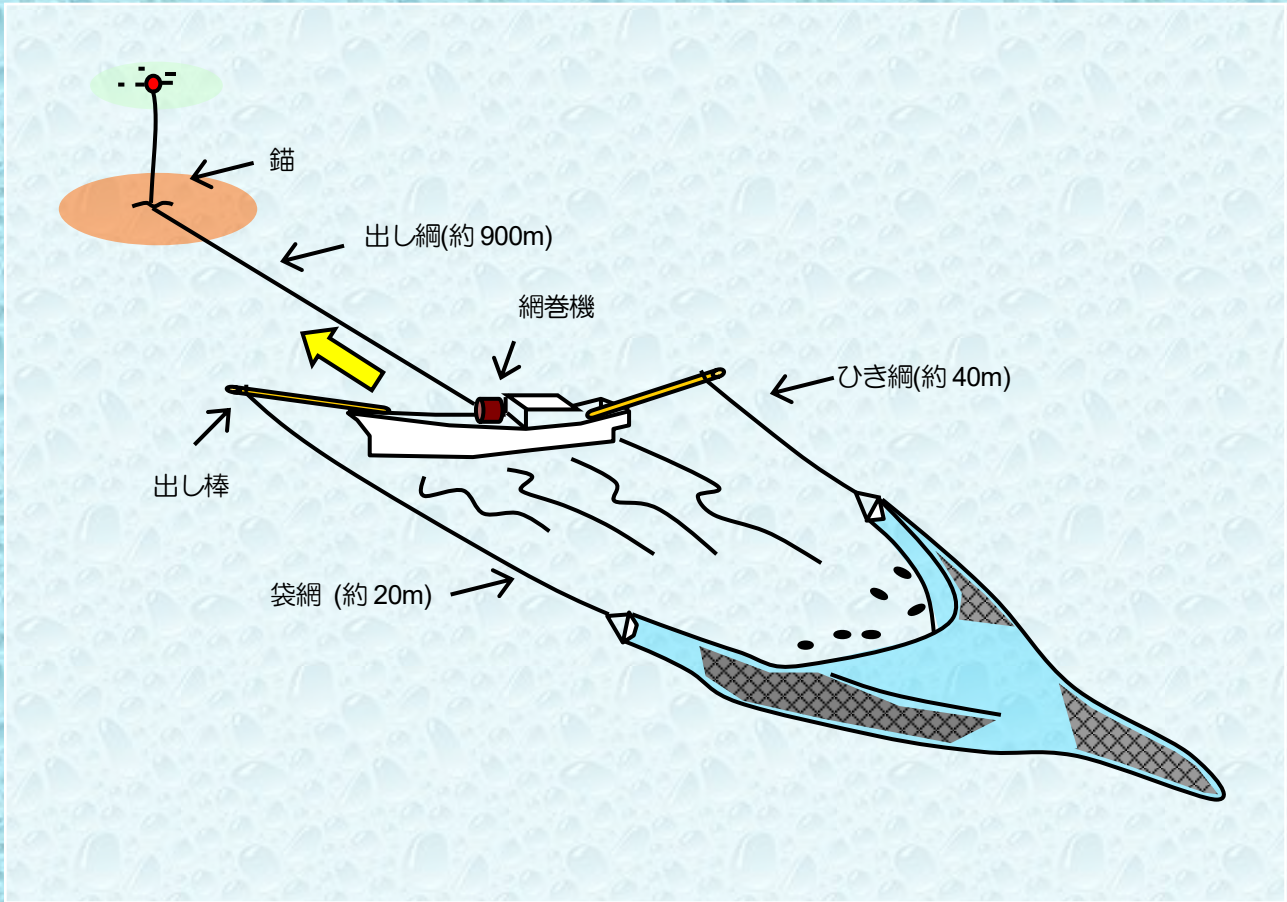
①わかさぎ・しらうおひき網漁業(トロール)



漁業	わかさぎ・しらうおひき網漁業
別称	トロール
許可等	知事許可漁業(小型機船底びき網漁業)
対象種	ワカサギ、シラウオ、ハゼ類(ゴロ)、エビなど
操業期間	7月21日から12月31日まで
概要	霞ヶ浦北浦の基幹漁業。動力船の後方に網をいれて水中を曳き、魚を獲る漁法。狙う魚種にあわせて曳く層や網の目合いなどを使い分ける。

(1) 底びき網漁業(小型機船底びき網漁業)について

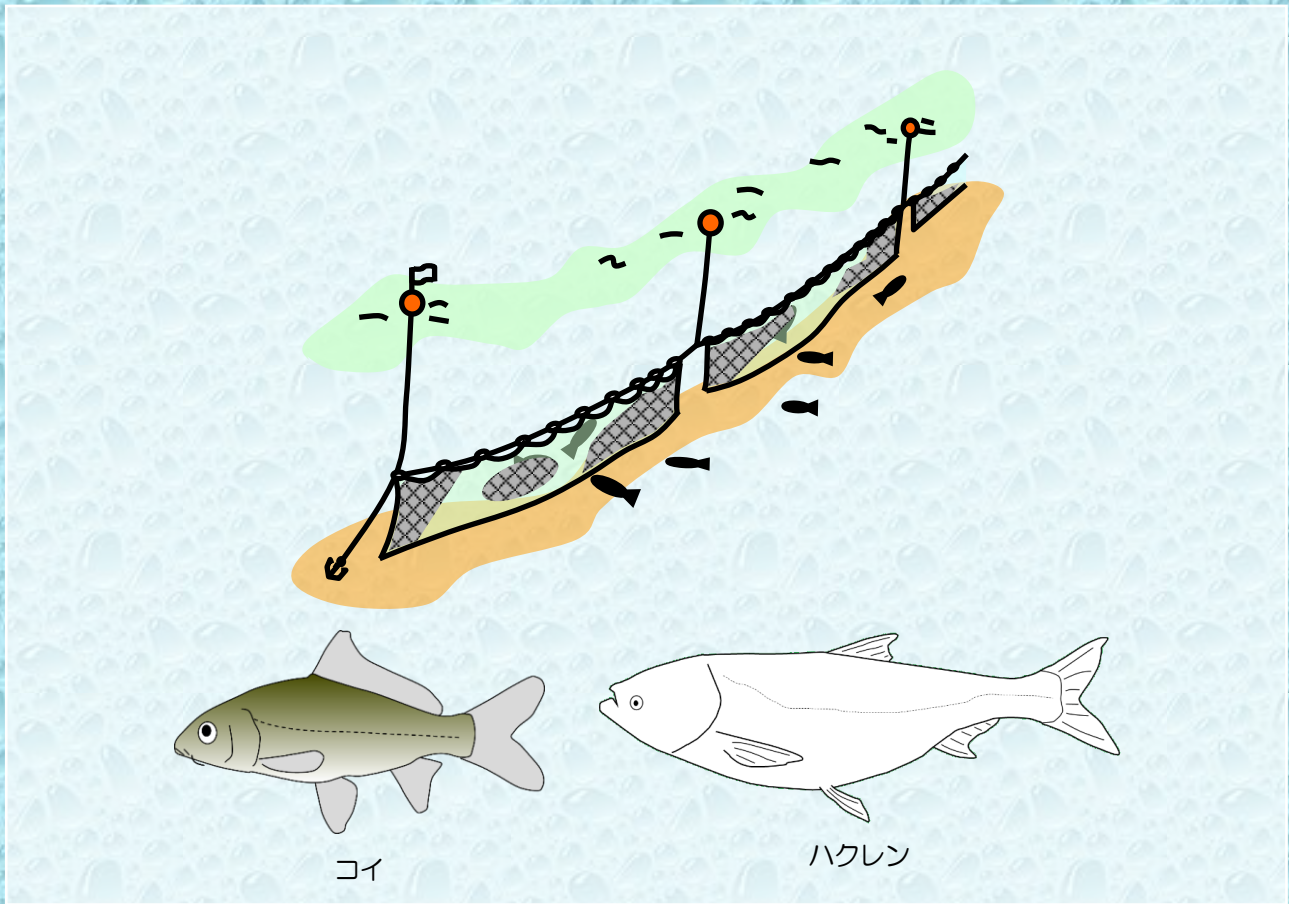
②いさざ・ごろひき網漁業(横ひき)



漁業	いさざ・ごろひき網漁業
別称	横ひき、かぐら
許可等	知事許可漁業(小型機船底びき網漁業)
対象種	イサザアミ、ハゼ類(ゴロ)、エビなど
操業期間	4月1日から翌年1月20日まで
概要	船の横に網を入れ、船上の網巻機で反対側に出した網を巻いて網を曳く漁法。

(2) さし網漁業について

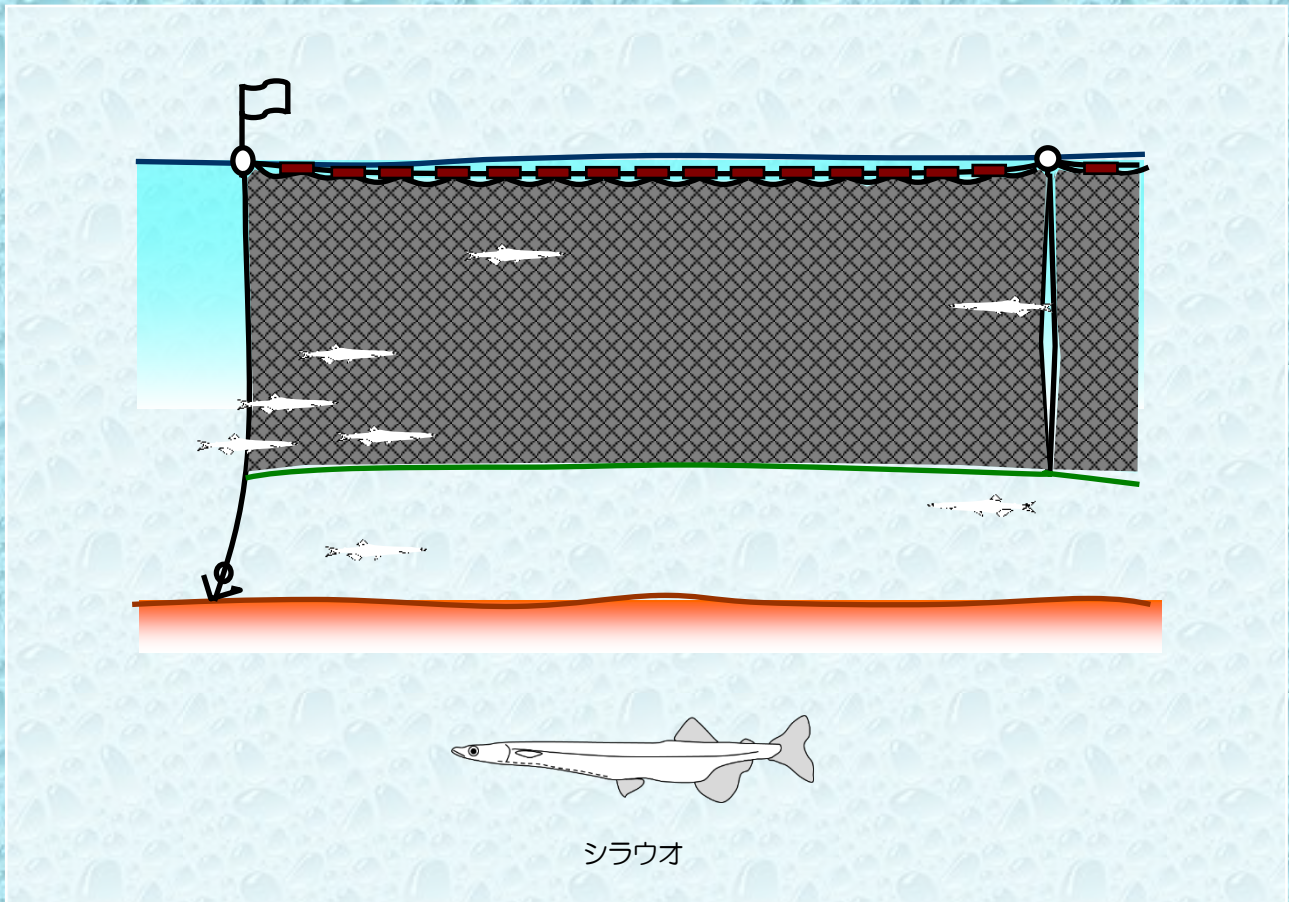
①雑魚さし網(掛網)



漁業	雑魚さし網
別称	掛網(かけあみ)
許可等	知事許可漁業(さし網漁業)
対象種	コイ、フナ、ハクレン等の大型魚
操業期間	周年
概要	魚の通り道に網を張っておき、泳いできた魚を網にからませて獲る漁法。

(2) さし網漁業について

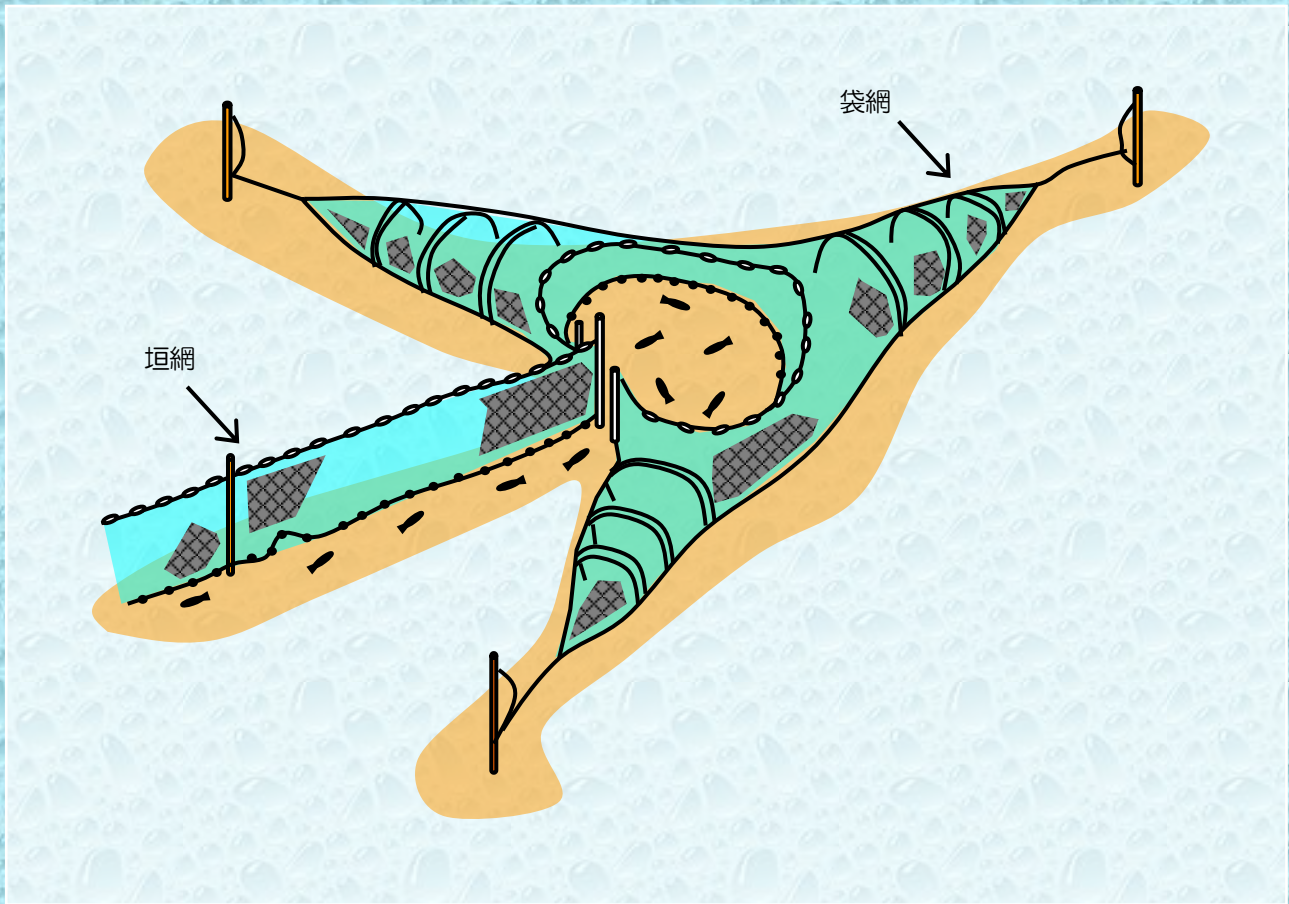
②しらうおさし網(建網)



漁業	しらうおさし網
別称	建網(たてあみ)
許可等	知事許可漁業(さし網漁業)
対象種	シラウオ
操業期間	4月1日から5月15日及び11月1日から翌年2月末日
概要	岸よりの第2種共同漁業権漁場でのみ操業可能。沿岸を回遊するシラウオを網にからませて獲る漁法。

(3) 定置網漁業について

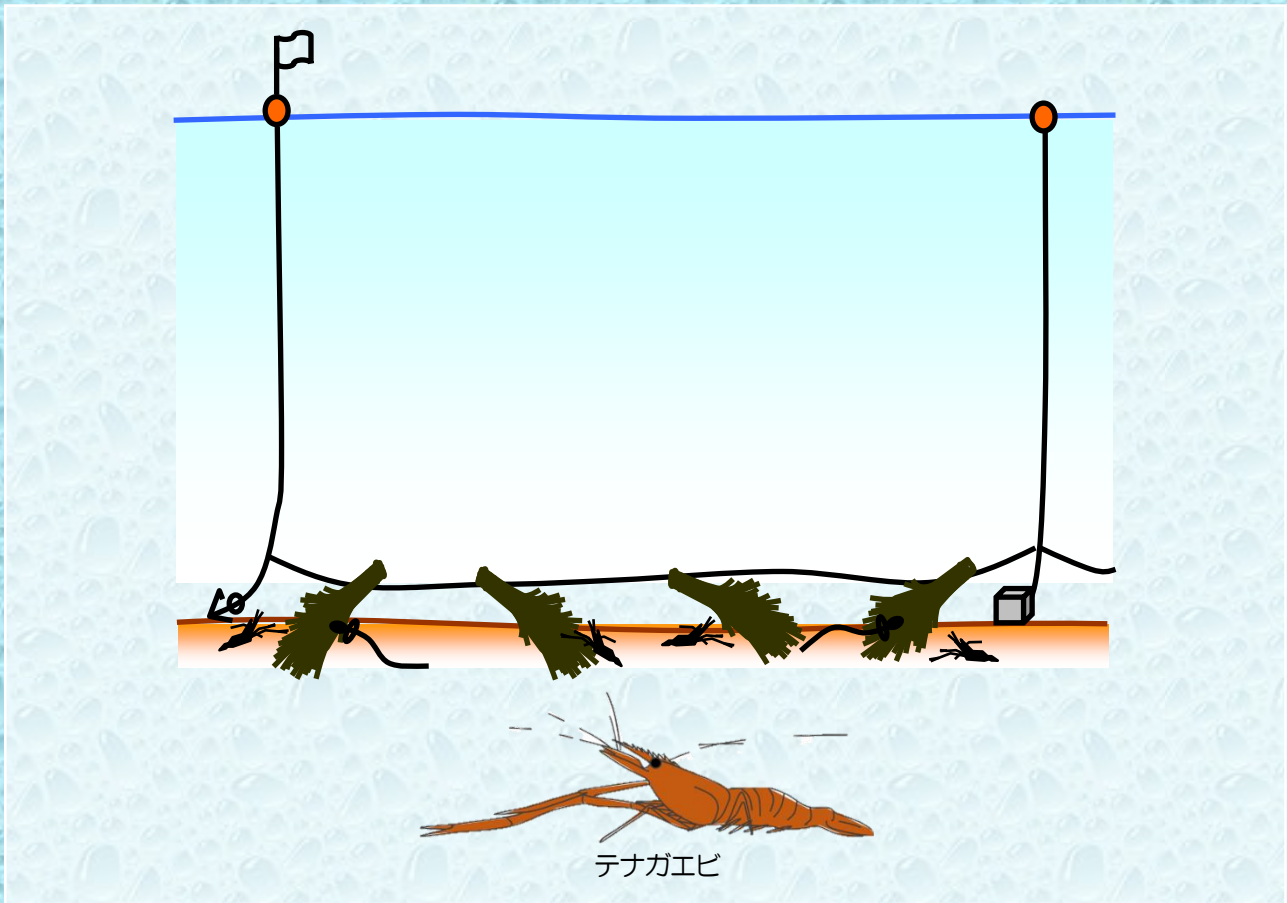
○張網漁業



漁業	定置網漁業
別称	張網(はり網)、ます網
許可等	第2種共同漁業権漁業(又は知事許可漁業)
対象種	ワカサギ、ハゼ類(ゴロ)、エビ、コイ、フナ、ウナギ、他
操業期間	3月1日から翌年1月20日まで
概要	岸から沖に壁のように網を張っておき、泳いできた魚が沖の袋網の中に入るのを待つて獲る漁法。

(4) その他の漁業

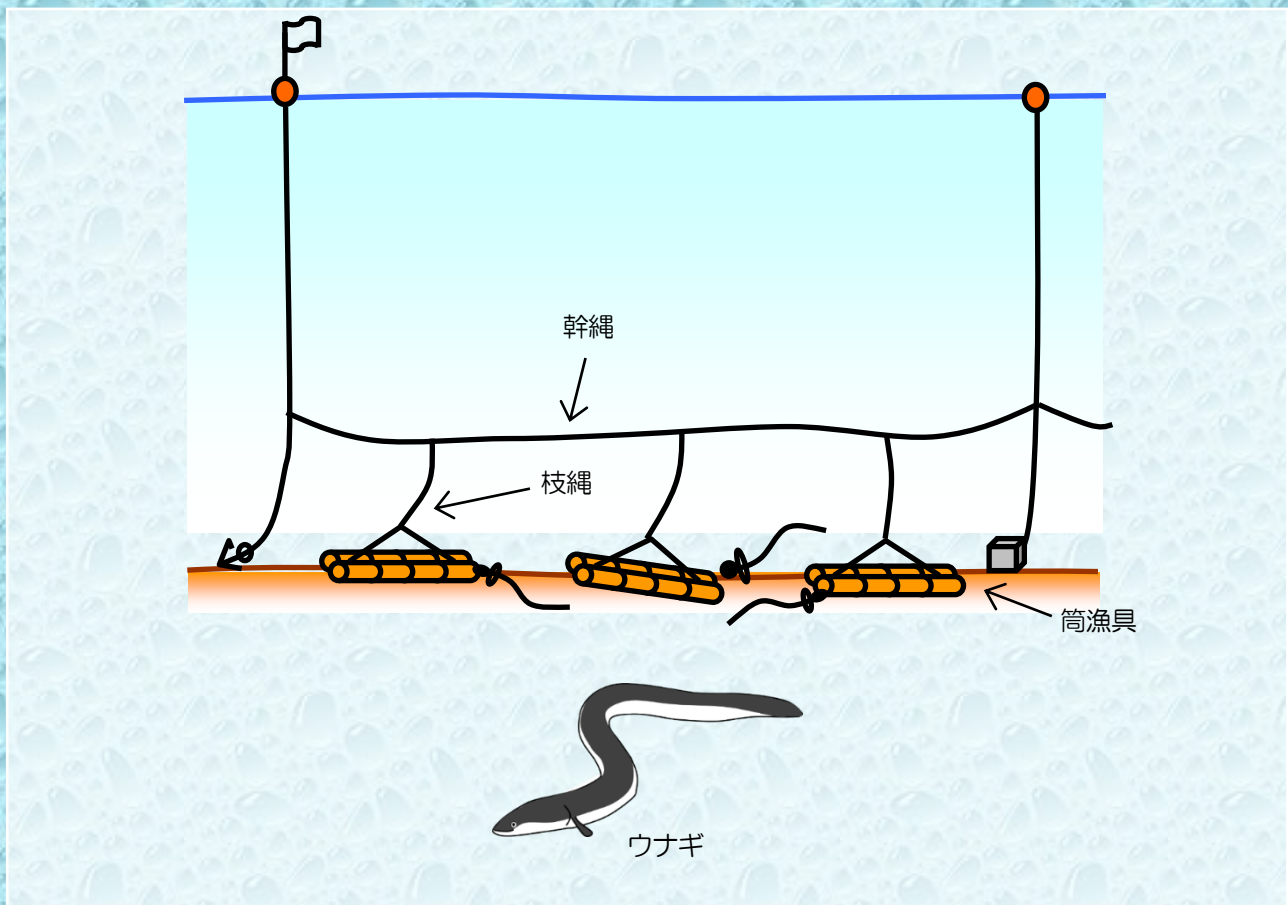
① 笹浸漁業



漁業	笹浸漁業
別称	ささびで
許可等	知事許可漁業(つけ漁業)
対象種	エビ、ウナギ
操業期間	周年
概要	エビやウナギが物陰に集まる習性(蝸集 ^{いしゅう})を利用した漁法。細い木の枝を集めて束状にした粗朶(そだ)を水中に沈めておき、粗朶を水中から揚げる際には、さで網とよばれる網にエビやウナギを振るい落としとして漁獲する。

(4) その他の漁業

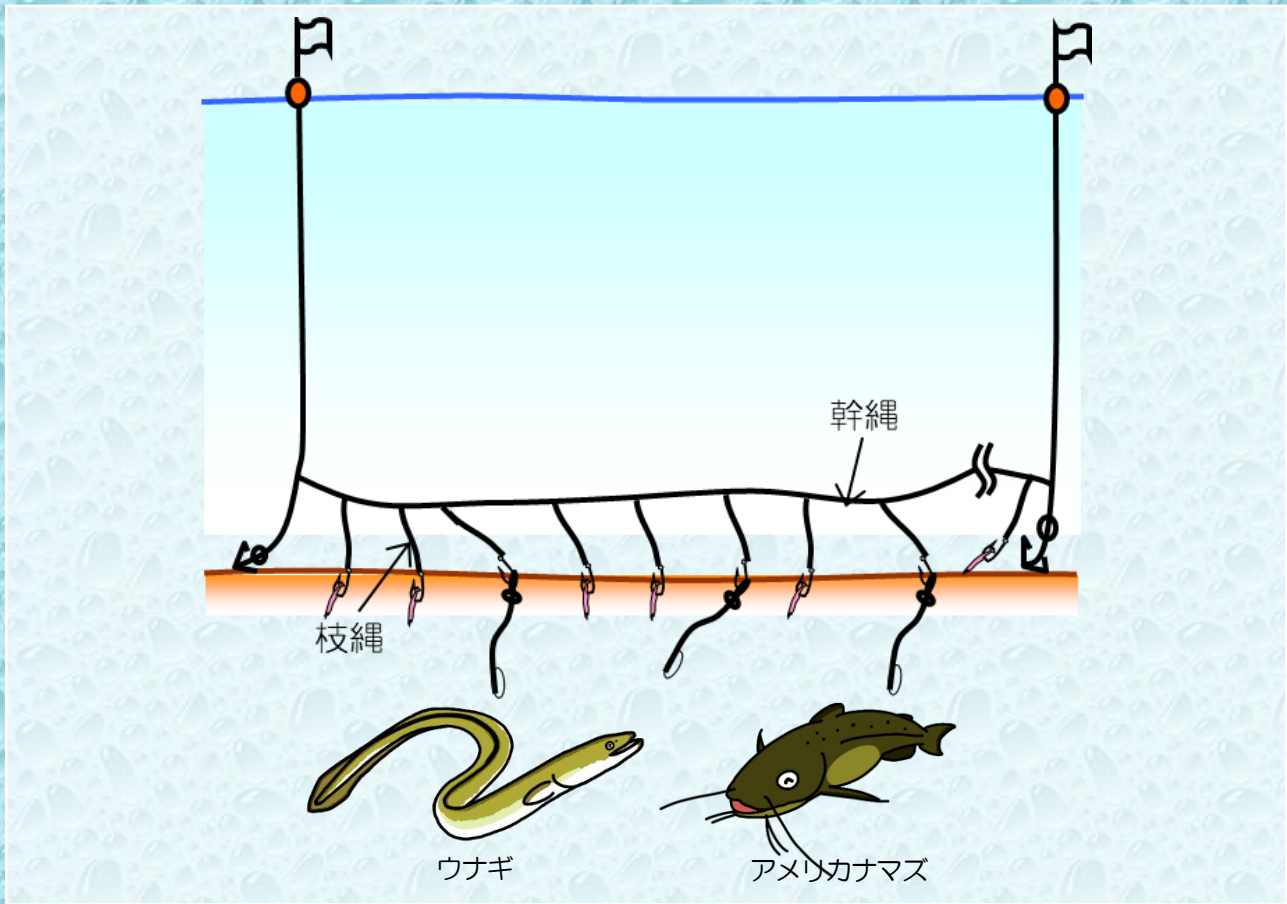
②うなぎ筒漁業(うなぎせんを含む)



漁業	うなぎ筒漁業
別称	うなぎ筒、竹筒、たかっぱ
許可等	承認漁業(霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会指示)
対象種	ウナギ
操業期間	周年(主に春から秋)
概要	暗く狭いところ好むウナギの習性を利用した漁法。節を抜いた竹などの筒状のものを1～3本まとめて水中に沈めておき、筒を水中から揚げる際には、さで網とよばれる網に筒中のウナギを落として漁獲する。

(4) その他の漁業

③はえなわ漁業



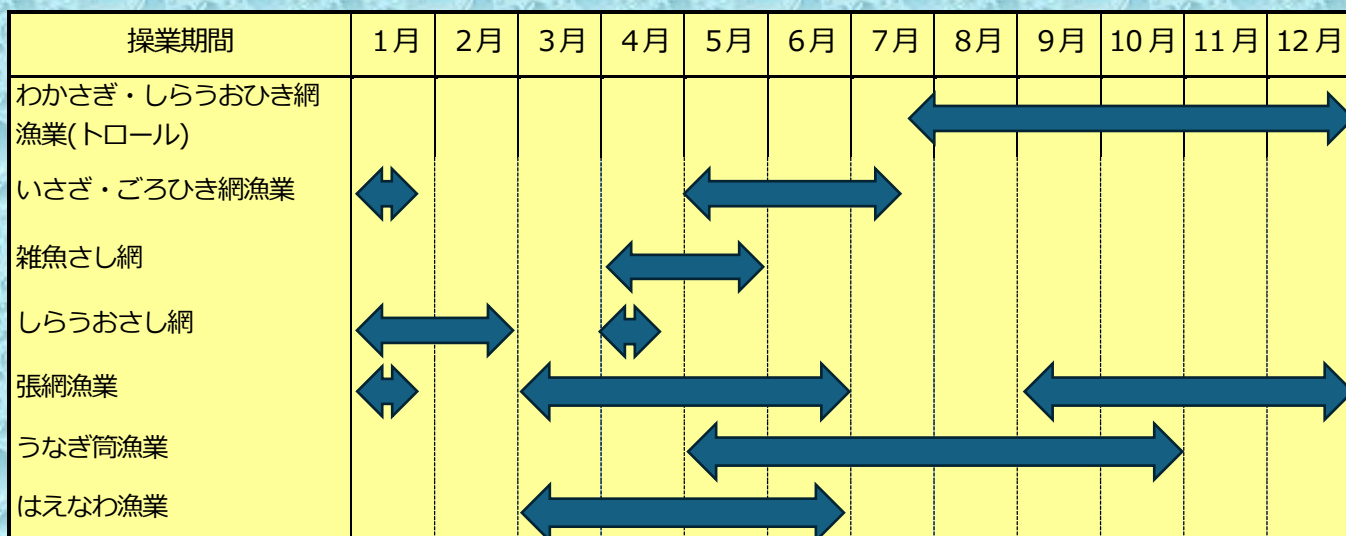
漁業	はえなわ漁業
別称	うなぎなわ、のべなわ、なわ
許可等	自由漁業(組合承認)
対象種	ウナギ、アメリカナマズ
操業期間	周年(主に春から秋)
概要	幹縄に数多くの釣針をつけウナギを漁獲する漁法。主なエサは川エビを使用。幹縄は長いもので数百メートル～数キロメートルにもおよぶ。

3 漁師の暮らしについて(事例紹介)

(1) 事例1 30歳で就業したKさん(40代)

- ①経歴 父親が漁師で、小学生の頃から手伝いで乗船
建設業等に従事後、30歳で漁業に就業
- ②概要 わかさぎ・しらうおひき網漁業やさし網漁業等複数の漁業種類を組み合わせる
漁獲物は自家加工し、道の駅等で販売
- ③内容 2.5トンの漁船で1名乗船により操業しシラウオやテナガエビ、ウナギ、ハクレン、
アメリカナマス等を漁獲
- ④年間最高水揚額 約800万円

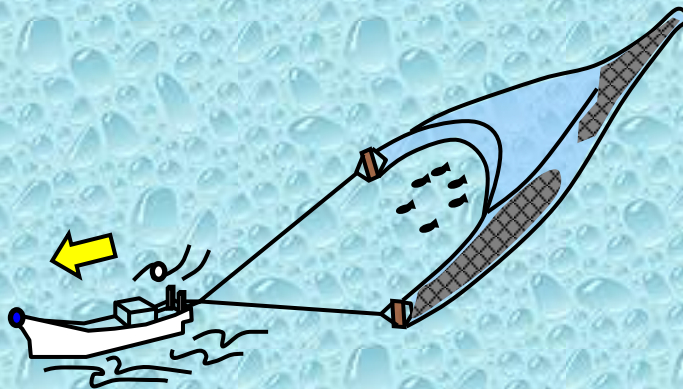
<年間操業スケジュール>



<1日のスケジュール>

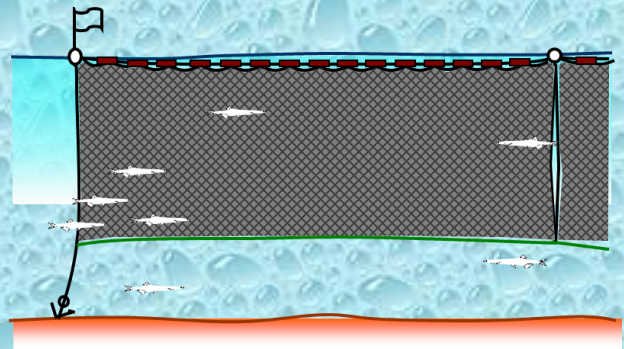
○トロール

1:30	起床
3:00	出港
3:30 ~6:50	トロール操業
7:30	帰港
7:30 ~9:00	漁獲物選別
9:00 ~12:00	片付け



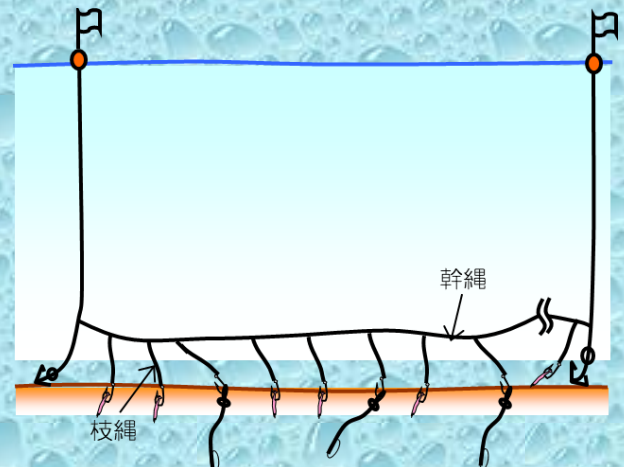
○しらうおさし網

15:30	出港
16:00 ~17:00	網入れ
17:30	帰港
【翌日】	
4:30	出港
5:00 ~5:40	網揚げ
6:00	帰港
6:00 ~8:30	シラウオ回収



○はえなわ

5:30	出港
6:00 ~7:00	針流し
8:00 ~11:00	針回収
11:30	帰港
12:00 ~13:00	片付け



(2) 事例2 定年退職後に就業したYさん(60代)

①経歴 地方公務員として60歳まで勤務

現職の頃から漁業に興味があり、知り合いの漁業者による体験乗船を経験

60歳の定年退職を機に、漁業者の技術指導を受けて、漁業に就業

②概要 わかさぎ・しらうおひき網漁業や張網漁業、笹浸漁業、うなぎ筒漁業を営む

③内容 2.5トンの漁船で1名乗船により操業しシラウオ、テナガエビ、ウナギ等を漁獲

④年間最高水揚額 約100万円

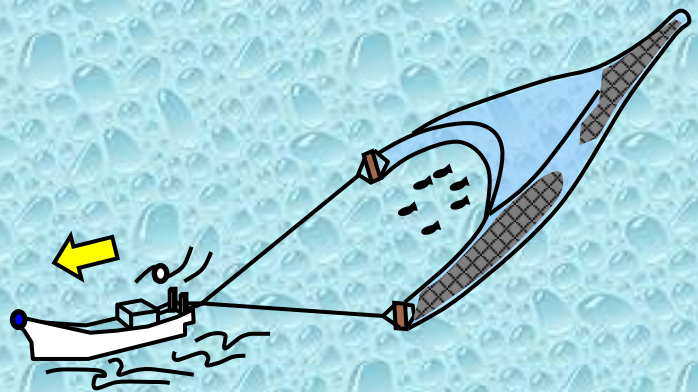
<年間操業スケジュール>

操業期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
わかさぎ・しらうおひき網漁業(トロール)								←	←	←	←	←
張網漁業	↔		↔						↔			
笹浸漁業				←	←	←	←	←	←	←	←	←
うなぎ筒漁業			←	←	←	←	←	←	←	←	←	←

<1日のスケジュール>

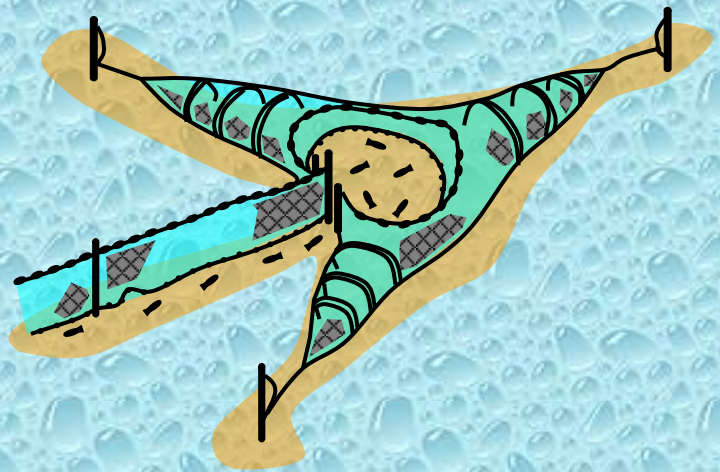
○トロール

2:00	起床
3:40	出港
4:00 ~5:00	トロール操業
6:00	帰港 網干し
6:00 ~7:00	漁獲物選別
11:00 ~12:00	網等片付け



○張網

6:00	出港
6:10 ~7:10	網設置
7:20	帰港
【翌日】	
6:00	出港
6:10 ~6:40	網揚げ
6:50	帰港
7:00 ~8:00	漁獲物選別



※概ね1週間後に網を回収し、洗浄(約3時間)

○笹浸

6:00	出港
6:10 ~7:10	エビ等収穫
7:20	帰港
7:20 ~7:50	漁獲物選別



※笹浸は周年設置

○うなぎ筒

6:00	出港
6:10 ~7:10	筒設置
7:20	帰港
【1週間後】	
6:00	出港
6:10 ~7:10	ウナギ等収穫
7:20	帰港



4 就業までの流れ

(1) 情報収集

漁業を始める前には、霞ヶ浦北浦の漁業や漁村生活について十分な情報収集を行い、自分のやりたい漁業や暮らし方をイメージしておきましょう。

(2) 漁業体験・見学

漁業や暮らし方の具体的なイメージを固めるためには、実際に現地で漁業体験や見学をして、現役の漁師さんと話をするのが一番です。

(3) 技術取得

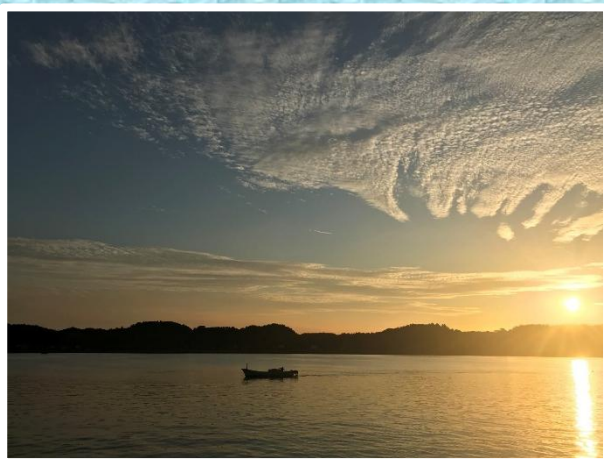
漁業に就業するには漁労技術の習得や各種資格免許が必要になります。茨城県では技術習得等を行うための長期漁業技術研修を実施しています。

(4) 漁業就業

漁業就業は、漁業者に雇用されて乗組員として従事する場合と、自ら漁船を取得して独立自営する2通りに分類されます。

(5) 独立

漁協の組合員資格を取得するほか、漁船や航海計器、漁労機器などが必要になります。



5 就業支援情報

(1) 研修制度(長期研修支援事業)

①事業主体 茨城県漁業就業支援協議会

②事業内容

- ・ 県内漁協及び漁業者が受入機関となって研修者(就業希望者)を受入れ、研修を実施。
- ・ 受入機関(漁業者)に、研修に伴う指導謝金等を支払う。

③補助要件等(助成対象となる研修生)

- ・ 漁業への就業意欲が高く、これまで1年以上漁業に従事したことがないこと。
- ・ 受け入れる漁業者の3親等以内でないこと。他

④補助対象経費・補助率など

- ・ 研修生を指導する漁業者への謝金

(※補助金の予算状況により減額される場合があります。)

- 1)雇用型(研修後は雇用) 最大 14.1 万円/月 (最長2年間)
- 2)独立型(研修後は独立) 最大 28.2 万円/月 (最長4年間)

(2) 長期研修支援事業の事例紹介

①事例1 独立型研修(行方市)

1)研修生 大貫優斗さん
年齢 18歳
出身 茨城県
趣味 釣り
漁法 トロール、はえなわ、張網
研修歴 令和7年(2025年)9月から開始



2)指導者 伊藤一郎さん
年齢 59歳
所属 霞ヶ浦漁業協同組合
漁業経験 31年
漁船規模 1.6トン
日最高水揚額 約40万円
年間最高水揚額 約1,200万円

3)マッチング方法

研修生本人からの連絡による

4)研修計画

A 海上研修

- ・漁具の操作法、投網作業、網揚げ作業
- ・漁獲物の選別及び鮮度保持作業
- ・船着き場での水揚げ作業等

B 陸上研修

- ・漁具の補修等
- ・漁獲物の選別及び鮮度保持作業



○研修生(大貫優斗さん)への質問

Q 1 漁業を目指したきっかけは何ですか？

A 1 魚が好きで、興味があった。

Q 2 研修時に1番つらかったことは？

A 2 研修当初は朝起きるのが、つらかった。

風が強く吹いた日は船酔いした。

Q 3 研修時に1番うれしかったことは？

A 3 トロールにウナギが混獲して、初めてウナギを食べた時。とても美味しかった。

Q 4 困ったときは誰に相談しますか？

A 4 師匠(伊藤一郎さん)。お母さん。

Q 5 今後の将来像は？

A 5 一日も早く独立して、一人前の漁師になりたい。

○指導者(伊藤一郎さん)から研修生(大貫優斗さん)へのアドバイス

- ・仕事も覚えてきており、休まず一所懸命働いている。
- ・まだ半年の研修だが、網の付け方など覚えが早く期待できる。

②事例2 独立型研修(稲敷市)

- 1)研修生 高須一幸さん
- 年齢 46歳
- 出身 茨城県
- 趣味 バスフィッシング
- 漁法 トロール、しらうおさし網
うなぎ筒
- 経歴 民間企業勤務後 28歳の時に実家の水産加工業に従事
- 研修歴 令和7年(2025年)9月から開始



2)指導者：石塚新一さん

- 年齢 67歳
- 所属 霞ヶ浦漁業協同組合
- 経験年数 44年
- 漁船規模 2.5トン
- 日最高水揚額 約20万円
- 年間最高水揚額 約200万円(※7～12月のトロールのみ)

3)マッチング方法

知人の紹介による

4)研修計画

A 海上研修

- ・トロールでは網入れ作業、網揚げ作業時の操船
- ・しらうおさし網の設置、網揚げ
- ・うなぎ筒の設置、取り揚げ

B 陸上研修

- ・網の修理(編み方)、ロープの結び方・扱い方
- ・漁具(うなぎ筒、トロールの開口板など)の作り方
- ・しらうおさし網での魚の外し方

C 船舶免許の取得

○研修生(高須一幸さん)への質問

Q 1 漁業を目指したきっかけは何ですか？

A 1 水産加工業に従事していた際に、地元の漁業者が年々少なくなってきた。
自分が漁業に着業することで、水揚げを安定させたいと思った。

Q 2 研修時に1番つらかったことは？

A 2 1番は船酔い。網の扱いは、風向きや波の状況に合わせる必要があり、苦労した。

Q 3 研修時に1番うれしかったことは？

A 3 魚(シラウオ)がたくさん獲れた時(40~50kg/回)。

Q 4 困ったときは誰に相談しますか？

A 4 知り合いの漁師(同級生もいる)。

Q 5 今後の将来像は？

A 5 早く一人前になって、独立したい。

○指導者(石塚新一さん)から研修生(高須一幸さん)へのアドバイス

- ・船上での作業は慣れないうちは辛いと思うけど、目先のこと、魚を多く獲ることを優先しないで、目標を定め、毎日安定した水揚げができるようになってもらいたい。
- ・そのためには、標準的な作業手順や、過去のデータを基にした網の選定など、決められたことを決められたとおりに行なうことが重要で、それによって事故無く、自分と同じように安定した水揚げが得られるようになると思うので、頑張ってください。

③事例3 雇用型研修(かすみがうら市)

1)研修生 齋藤昭司さん

年齢 45歳

出身 茨城県

漁法 トロール、横ひき、さし網
うなぎ筒

研修歴 令和5年(2023年)9月から開始

2)指導者 齋藤忠成さん

年齢 47歳

所属 霞ヶ浦漁業協同組合

経験年数 20年

漁船規模 2.5トン

日最高水揚額 約20万円

年間最高水揚額 約1,000万円

3)マッチング方法

研修生本人からの連絡による

4)研修計画

A 海上研修

- ・漁具の操作法、投網作業、網揚げ作業
- ・漁獲物の選別及び鮮度保持作業
- ・船着き場での水揚げ作業等

B 陸上研修

- ・漁具の補修等
- ・漁獲物の選別及び鮮度保持作業



○研修生(齋藤昭司さん)への質問

Q 1 漁業を目指したきっかけは何ですか？

A 1 友人が漁業をしていたから。

Q 2 研修時に1番つらかったことは？

A 2 寒いこと。とにかく冬は。

Q 3 研修時に1番うれしかったことは？

A 3 船長の指示が無くても準備をし、褒められたこと。

Q 4 困ったときは誰に相談しますか？

A 4 友人。

Q 5 今後の将来像は？

A 5 体がもつ限り、頑張りたい。

○指導者(齋藤忠成さん)さんから研修生(齋藤昭司さん)へのアドバイス

- ・昔からの知り合い(幼馴染)なので、漁業にも理解があり、研修はやりやすかった。
- ・2年間の実習では正直短いと思うがよくやっており、年々仕事ができる様になっている。
- ・欲を言えば、もうちょっと要領よく、頑張ってもらいたい。

(3) 融資制度(漁業制度資金)について

① 漁業近代化資金

[事業内容]

漁業者等が施設等装備の高度化を図り、経営の近代化を促進するために必要な資金を支援します。

[融資機関]

東日本信用漁業協同組合連合会

(融資額によっては農林中央金庫からの融資となる場合があります。)

[貸付対象者]

漁業を営む個人及び法人、水産加工業を営む個人及び法人 他

[融資枠]

17 億円(令和8年度)

[担保・保証等]

- ・担保や連帯保証人は、融資機関の判断により必要となることがあります。
- ・県漁業信用基金協会の債務保証の利用が可能です。

[資金一覧表]

資金名	融資限度額	基準金利	県利子補給率	貸付利率	償還期間 (据置期間)
1-1号資金 (20トン未満の漁船建造、取得)	9,000万円	3.75%	1.25%	2.5%	20年以内 (3年以内)
1-3号資金 (漁船用機器の取得)	9,000万円	3.75%	1.25%	2.5%	10年以内 (3年以内)
3号資金 (水産物運搬用器具(トラック)等取得)	9,000万円	3.75%	1.25%	2.5%	7～10年以内 (2年以内)
4号資金 (漁具等取得)	9,000万円	3.75%	1.25%	2.5%	5～10年以内 (2年以内)

※利率は、令和8年4月1日現在

② 沿岸漁業改善資金

[事業内容]

沿岸漁業者等が自主的にその経営・生活を改善していくための施設等装備の導入等に必要資金を無利子で貸し付けます。

[融資機関]

- ・ 県からの直接貸付(事務手続きは東日本信用漁業協同組合連合会が行います。)
- ・ 金融機関(東日本信用漁業協同組合連合会)が県から原資を借り受ける転貸融資

[貸付対象者]

- ・ 沿岸漁業※の従事者(個人、個人が組織する団体)
- ・ 沿岸漁業を営む会社(常時の従業者 20 人以下に限る)
※漁船総トン数 20 トン未満の漁船を使用する漁業者

[融資枠]

5 千万円(ただし、1 つの貸付対象者あたりの貸付合計額の上限は 5 千万円)

[担保・保証等]

- ・ 県からの直接貸付の場合
貸付にあたっては連帯保証人が必要です。(貸付金合計額：300 万円未満の場合 2 人以上、300 万円以上の場合 3 人以上)連帯保証人になる場合は、印鑑証明書に加えて公証役場で取得した保証意思宣明公正証書が必要です。
また、適当な担保設定により連帯保証人設定の省略が可能です。
- ・ 金融機関からの転貸融資の場合
連帯保証のほか、全国漁業信用基金協会による債務保証を利用可能です。債務保証を受けるには所定の債務保証料の支払いが必要です。
また、金融機関等の審査により連帯保証人を求められる場合があります。

[資金一覧表]

資金名	貸付対象	融資限度額	貸付利率	償還期間 (据置期間)
経営等改善資金	操船機器、漁労機器、安全機器等	10～2,000 万円	無利子	2～12 年以内 (0～5 年以内)

6 各種情報

(1) 独立時初期費用の事例

①漁船・漁具の取得(※漁業者聴取)

・漁船(2.5トン)	50万円~120万円(中古船)、約1,000万円(新船)
・漁船(船外機船)	10万円(中古船)、約50万円(新船)
・エンジン(80kW)	約500万円
・GPS・魚群探知機	15万円~30万円
・漁具	
○トロール式(網・開口板・おもり)	約150万円
シラウオ網	65万円
ワカサギ網	35万円
エビ網	30万円
○横ひき	
イサザアミ網	80万円
エビ網	25万円
○張網	5万円(中古)~70万円(新品)
○しらうおさし網	10万円
○はえなわ	10万円
・ボールローラー	約200万円
・クレーン	15万円
・製氷機	25~60万円

②運転資金(※漁業者聴取)

・燃料代	
トロール	約7万5千円/月(※免税軽油)
横ひき	約2万5千円/月(※免税軽油)
さし網	約5千円/回(※ガソリン)
・箱代	15万円(50箱)

(2) 資格等

- ・ 漁業協同組合への加入
- ・ 漁船登録
- ・ 漁業許可の取得
- ・ 船舶免許(小型船舶操縦士)

(3) 就業相談

<就業相談窓口>

茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所 指導課

住所 茨城県土浦市真鍋5丁目17番26号

電話 029-822-7285

